

以上七回地震中、(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)ノ六回ハ、皆ナ本島南西部ノ陸地内ニ發震セリ、(7)ノミハ少シク趣ヲ異ニシ、廣キ地震ナルガ、判然タル震動區域圖ヲ畫スルヲ得ザルヲ以テ、暫ク各地ニ於ケル震度ヲ示スノミニ止メ置キタリ

(1)ヨリ(5)迄ノ地震中、最初ノ三回ハ稍々大ニシテ、後ノ三回ハ局部微震ナリ、而シテ(1)ハ明治三十七年四月二十四日激震ノ餘震ト見做スヲ得ベク、(3)、(4)、(5)、(6)ノ四回ハ皆ナ同年十一月六日激震ノ餘震ナリ、(2)ノミハ餘震ト見做シ能ハザルニ似タリ

(1)、(2)、(3)ノ三個地震ノ震動區域圖ニ於テ顯著ナル事實ハ震央帶ガ陸地内ニアリテ、其ノ中央軸、即チ延長ノ方向ガ島ノ長軸ニ概略並行セルコトナリ(第十三編兩回激震ノ區域圖ニ關スルノ條參照)

第九編 明治三十七年十一月六日

激震ニ關スル各地ヨリノ

報告

八二 明治三十七年十一月六日激震ニ關スル、各地ヨリノ報告摘要ヲ、次ノ如ク順次ニ記載スベシ

(甲) 臺北測候所ニテ蒐集セル分ヨリ拔萃

(乙) 斗六廳管下ノ各支廳ヨリ同廳ニ差シ出セル報告

(丙) 震災ニ關スル鐵道部長ヨリノ報告

(丁) 本委員ガ巡回中、直接ニ聞キ得タルコト、及ビ本

委員ガ感シタル地震ノ記事等

八三 (甲) 臺北測候所ニテ蒐集セル分ヨリ拔萃

〔彰化廳〕 器物ノ轉倒ハ洋燈ノミニ止リ其方向ハ南ヨリ北、

……倒壞家屋特ニ官舎ノ玄關倒壞シ其他大破家屋多シ……

〔彰化廳鹿港支廳〕 比較的微震ニシテ何等ノ異狀ヲ呈セズ

〔彰化廳員林〕 ……南方ヨリ震動シ來リ……上下左右ニ震動

シ強震ナリ

〔彰化廳北斗〕 ……單ニ座リ惡キ器物ノ轉倒セシニ止マリ、

又粗造ノ壁ニ龜裂ヲ生シ、……地震ハ急激ニシテ震動ハ南東

ト推測セラル

〔南投廳〕 ……塗壁ノ脆軟ナル部分龜裂シ、吊垂シタルモノ

動搖シ敗屋ノ瓦幾分ノ墜落アリシノミ、方向ハ西南ヨリ北東

ニ進ミタリト認ム

〔同草鞋墩支廳〕 瓦葺竹柱ノ朽廢セル住家一軒崩壞セシモ、

間口三間奥行二間半約四坪半ノモノニシテ、價格僅ニ三四

圓、瓦葺ナリシ爲メニ直下ニ崩落シ、竹柱ハ一定ノ方向ナク亂

圖十三第

中年七十三治明

圖數回震地地各灣臺

リセル記ヲ數ノミノ震地ルア覺感ハ所候側シ祖



五回以下

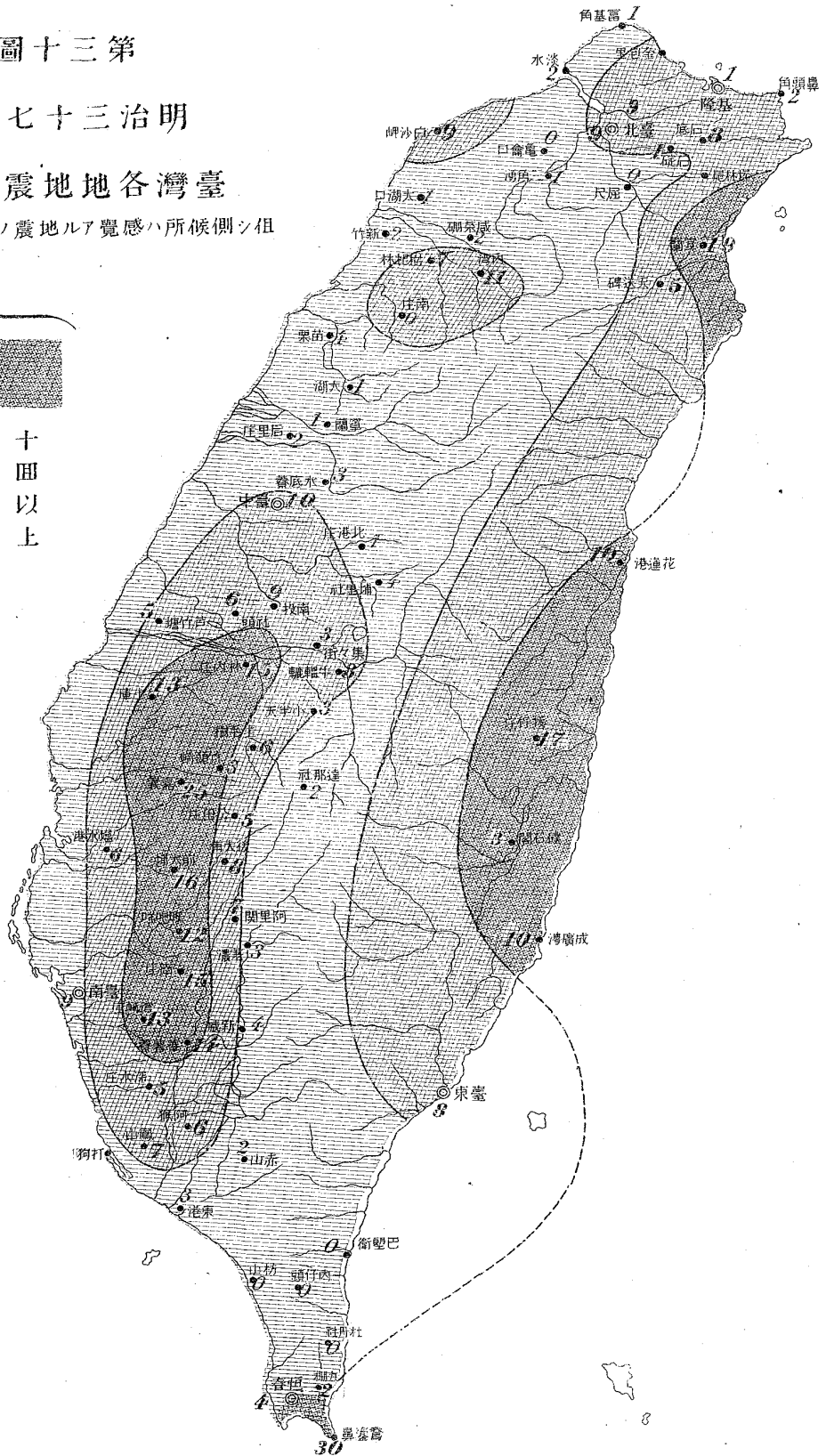
五回以上

十回以上



號	符
河	●
溪	◎
	○

雨量觀測所
側候所

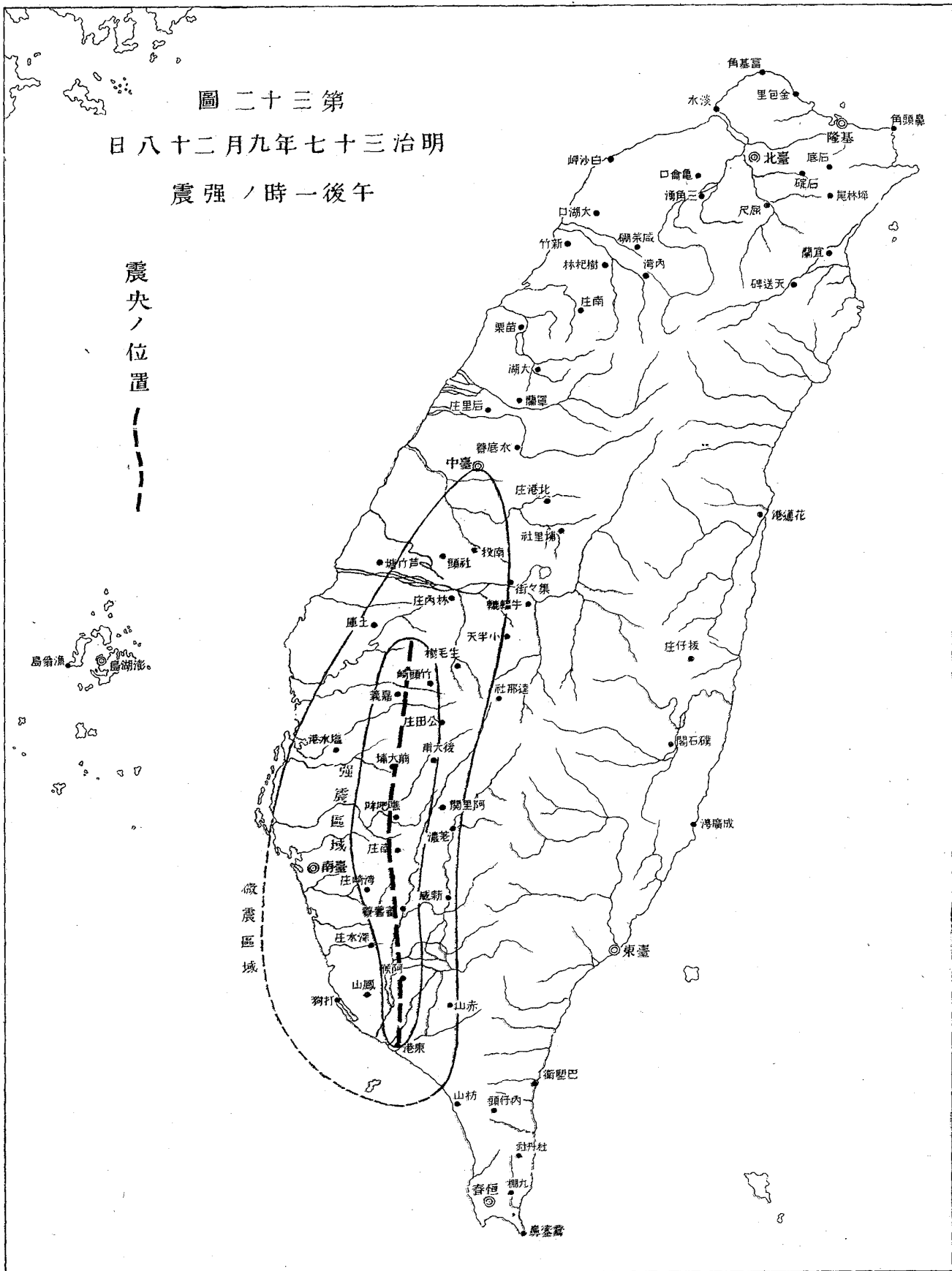


圖二十三第

日八十二月九年七十三治明

震強ノ時一後午

震央ノ位置



圖四十三第

日二十二月一十年七十三治明

震輕ノ時二後午



圖六十三第

日九十二月一十年七十三治明

震微ノ時九後午

ス示ヲ域區動震



圖七十三第

日七月九年七十三治明

震強、時一後午

ス示フ域區動震



倒セリ、尙支廳ノ掛時計ハ停止セズ、玻璃障子等ニ破損ナク
土角造リノ住家等ニ異狀ヲ呈セシモノヲ認メズ

〔同埔里社〕 稍強キ弱震ニシテ器物ノ轉覆液體ノ溢出等一モ
ナシ」東南ヨリ西北ニ向フ、水平動ニシテ急激ナリ

〔南投廳集々〕 別條皆無ナリ

弱震ニシテ午前四時四十五分、(午前六時ニモ微震アリ)方
向ハ南北ナランカ、又水平動ニシテ同時ニ地鳴ヲ聞キタリ
シトノコト

〔斗六廳林圯埔〕 當支廳宿舍從來朽チ居リシ母屋折レ屋根瓦
及窓硝子等ノ幾分ノ破損ヲ生ジタルノミ

〔同西螺支廳〕 當支廳部内ニテハ僅カニ二三民屋ノ一部破損
セシノミニシテ他ニ損所無シ

〔同土庫〕 ……西南方向ヨリ上下動ノ震動ヲ起シ約四十秒位
ニテ引續キ波及的ノ震動ト變シ是又約二十秒位ニテ止ミ前後
ヲ通ジテ一分間位ナリ然レドモ本年四月二十四日ノ地震ヨリ
強地震ナリシニモ不拘机上ニアル洋燈等ノ如キ轉倒割合ニ少
キハ弱キニアラズシテ其ノ性質ノ異ナルニ依ルナリ……轉
倒セルモノハ總テ北方ニ向ツテ轉倒ス

〔同崙背〕 ……當日地震前ハ數回轟々タル音聲ヲ聞キ約一二
分ヲ過ギ北東ヨリ南西ニ微ヨリ強ニ又微ニ移リ下振時計ノ止

ミタルモノアリ……

〔斗六廳他里霧支廳〕 打猫北堡遊厝庄ノ内潭厝寮ヨリ別粉宮
ニ通ズル即チ双溪口ノ右岸道路東側ニ長サ三間巾二寸、其西
側ニ長サ四間巾二寸斗土地陷落シ水湧出セルアリ臺ランプ、
瓶類ハ悉ク轉倒セリ其方向ハ南東若クハ北西ニ限リタルガ如
シ

〔斗六廳坎頭厝支廳〕 別條ナシ

〔同 下湖口支廳〕 家屋内ノ器物轉倒セリ方向ハ東北ナリト
信ス、當管内ニハ一ノ被害ナシ

〔同 北港支廳〕 器具ハ南東及ビ其反對ニ倒レ居リタリ洋燈
及酒瓶等ノ如キモノハ轉倒シ机上ノ洋燈等ノ如キハ殆ト破碎
シタリ

〔嘉義廳梅仔坑支廳〕 左迄ノ強震ト云フ程ニハ無之、被害モ
絶無トモ云フベク僅ニ支廳屋舎ノ屋根地破損セシ位ニ止マ
リ、方向ハ西南ナルガ如シ……

〔同 打猫〕 器物等ハ多クハ北方へ轉倒セリ「打猫街總戶數
六百四十三戸ニシテ全潰十六戸半潰十八戸、破損十七戸アリ
タルモ多クハ北方ニ向ヒ倒壞傾斜セリ……

〔同 新港支廳〕 當新港街ヨリ南壹里ニ在ル牛稠溪堡月眉潭
庄ノ内潭尾ニ於テ一ヶ所其長サ約五間ニシテ北東ヨリ南西ニ

向ヒ稍灣曲シ龜裂線ノ中央ニ裂口約五寸アリテ兩端ニ至ルニ隨ヒ狹マレリ龜裂口ヨリハ淡藍色ノ軟砂ヲ噴出シ震後約十時間ニシテ止ム、噴出シタル軟砂ハ約七八寸乃至三四間位ナル饅頭形ヲ爲セリ其他右龜裂點ヲ中心トシ四方約十四五丁ノ面積ニ七箇所ニ小孔ヲ生ジ噴水シ五六時間乃至八九時間軟砂ヲ噴出シ孔口ニ經二三尺ノ饅頭形ヲ作セリ、當新港ヨリ西方ニ位スル牛稠溪堡番婆庄ニ於テ三ヶ所長サ一間乃至二間ニシテ四寸乃至六寸ノ龜裂ヲ生ジタルモ噴水セズ

〔同〕 朴子脚支廳〕 器物ノ轉倒方位ハ東北ナリ

〔同〕 東石港支廳〕 別條無シ

〔同〕 中埔支廳〕 古家ノ破壞轉倒及棚上ノ器物ノ墜落等アリ

震動ハ北西ヨリ南東ニ進向シタルモノ、如シ

〔鹽水港廳〕 當廳下ニ於テハ屋根瓦ノ脫落及墻壁等ニ破壞又ハ龜裂ヲ生シ損害ノ個所少ナカラズ……

〔鹽水港、店仔口支廳〕 置ランブ瓶ノ如キ長細形ノモノハ概シテ西方若クハ南方ニ轉倒セリ、震動ハ粗造ナル家屋ノ倒壞器物ノ轉倒、液體ノ溢出等ニ依リ察スルニ東北ヨリ西南ニ震通シタルモノモノ、如シ

〔同〕 北門岐支廳〕 ……戶障子ニ動搖ヲ感セリ方向ハ西南ヨリ東北ニ亘ル同日午前六時五十五分……上下弱震アリ

〔同〕 新營庄支廳〕 器物等ノ轉倒ハ往々アリシモ……唯鳴動ハ糙ニ北ヨリ起リ南ニ進行セルモノ、如ク概シテ當廳管内ニハ家屋ノ壞倒、橋壁ノ破壞等著シキ被害ナシ

〔同〕 前大埔〕 當支廳管内ハ至テ弱震ニシテ一ノ被害ナク……藥棚ニアル藥瓶ハ西北ヨリ東南ニ轉倒セリ……

〔同〕 六甲支廳〕 別ニ被害ナシ

〔同〕 蘇荳〕 被害無シ

〔蕭壠支廳〕 被害無シ

〔臺南、灣裡〕 方向ハ北ヨリ南ニ震動セルモノ、如シ

〔同〕 礁吧啤支廳〕 震動ハ稍々強震ナルモ別條ナシ

〔臺南關帝廟支廳〕 至テ弱震ニシテ何等ノ被害ナシ且ツ方向ハ北西ノ如ク思ハル

〔同〕 大目降支廳〕 別條無シ

〔同〕 阿公店支廳〕 同上

〔同〕 鳳山廳楠仔坑支廳〕 震動細微ニシテ被害無シ

八四 (乙)斗六廳管下各支廳ヨリノ報告

北港支廳

……午前四時二十分轟然鳴動シ同時ニ忽チ激動ヲ起シ其方向ハ南北ニ平行震ヲナシ室内ニ於ケル洋燈轉倒シ高キ所ニアル物件ハ轉落シ室外ニ於テハ屋根瓦ハ飛散スルノ有様ニテ何レ

モ室外ニ避難セリ而シテ當日終日微震數十回連續セリ古老ノ言ニヨレバ六十年來ノ激震ナリシト然ルモ幸ニシテ一二ノ輕傷者アリタルノ外人畜ニ死傷ナシ

西螺支廳

……午前四時二十九分及六時七分ノ二回何レモ上下及南北波震動ニシテ前者ハ後者ニ比シ一層劇烈搖震約四秒ニシテ近年稀ナル強震ナリシモ支廳々舍ノ一部並ニ宿舍ノ一部破損セシノミニテ各村落ニ於テモ亦二三民室ノ一部ニ損處ヲ生シタルモノアルモ幸ニ輕微ナリシ

崙背支廳

……一分間最強震ニシテ左右ニ震動急激ナリ

方向ハ北方ヨリ來リ西南ニ去ル

崙頭厝支廳

……午前四時三十七分ヨリ午前七時迄ニ五回ノ地震アリ
第一回ハ午前四時三十七分ニ起リ約一分間、第二三四回ハ時刻不明、五回ハ午前七時ニシテ約二十秒間ノ震動アリ……
第一第五ノ二回ハ弱震ニシテ第二、三四ノ三回ハ微震ナリ
地震ノ方向ハ北ヨリ南ニ向ヒタルガ如シ……
人畜ノ死傷、家屋ノ破損土地ノ龜裂等ナシ
北港支廳

……午前四時二十分轟然鳴動シ殆ト遠雷ノ響スルト同時ニ忽地動ヲ起シ其方向ハ南北……
斗六廳十二抱竹圍警察官吏派出所

……午前四時二十分……雷ノ如ク一度音響シ而シテ後チ僅ニ三分間ヲ經過シ震動ヲ爲シ西ヨリ東ニ震動ス

水平動……急激ナリ

斗六廳溪邊厝警察官吏派出所

……第一回弱震ハ午前三時四十五分ニシテ二秒時ニテ終ル

午前六時迄微震三回アリ后午後三時五分迄微震四回アリテ終

レリ

斗六廳石榴斑警察官吏派出所

……第一回……午前三時五十八分 四秒間、南北、弱

第二回午前六時 一秒間微震

第三回午前六時三十六分 三秒間……弱

他里霧支廳

烈震「明治三十七年十一月六日午前四時二十五分暴鳴震動シ最急劇ヲ極メ約五分時ニシテ止ム其方向ハ東方ヨリ西方ニ向ヒタル如ク臺ランプ、瓶類ハ多ク東又ハ西ニ倒レ屋壁崩潰破損ノ如キモ亦一部位ニ限リタルカ如シ殊ニ家屋ノ倒潰人畜ノ死傷等多大ノ被害慘狀ヲ極メタルハ打猫北堡大坡頭ニシテ人

畜被害ノ多數ナリシハ夜間熟眠中其劇動ニ急遽狼狽シテ避難シ能ハザリシガ爲ナラン
林圯埔支廳

……午前四時二十四分ヨリ約五十秒間水平動ノ強震アリ引キ續キ午前五時四十五分ヨリ約五秒間微震此前後一回ノ震動ニ因リ屋根ハ下リ窓ハ曲リ吊上ケアル窓硝子ハ墜碎シ朽チアリシ母屋ハ折レ云々

八五 (丙) 震災ニ關スル鐵道部長ノ報告書

打狗出張所管内ニ於テ、本月六日午前四時二十五分頃俄然劇烈ナル地震アリ、爾後終日七八回ノ微動ヲ起シ、線路及建造物等數ヶ所ノ災害ヲ蒙リ候其主ナルモノハ左ノ如シ

一 拔仔林驛手前約一哩

一 會文溪橋梁第十第十三第十四第十七號橋脚床石上目筋及

笠石ニ少シク龜裂ヲ生シタリ

一 蕃仔田溪(スバン五十呎)橋梁袖石垣ノ一部龜裂シタリ

一 六十八哩來鼻溪(スバン二十呎)龜裂ヲ生シタリ

一 其他築垣ノ陷落及停車場建物等ノ傾斜壁剝落等多數ナリ

シモ總テ交通上ニ障害ナシ

右及報告候也

明治三十七年十一月二十四日

總督宛

鐵道部長

八六 (丁) 各地地震報告

次ニ錄スルハ本委員ガ臺灣巡回中ニ聞キ得タル地震報告、及

ビ本委員ガ感シタル地震ノ記事ナリ

斗六

斗六廳警務課員ノ話ニ依ルニ十一月六日午前四時半、地鳴アリ、目ヲ覺マシテ走り出デタル頃ハ、既ニ微弱トナリタルガ、急激ナル上下動ニハ非ズシテ、強キ水平動ナリシト云フ

同日午前七時 微震アリ、又正午頃 地震稍強シゴト瀧車ノ着ク如キ音ヲ判然ト聞キタルガ、直チニ震動ヲ感ジタリト云フ

同日午後三時頃地震稍々強ク微ナル地鳴アリ

斗六廳ノ寺本警部ノ話ニ四日地震ノトキ同氏ハ既ニ目ヲ覺

マシテアリシガドット音ヲ聞キタルニユラ／＼震動ヲ感

ジ、其ヨリ後ニグット二三回震動ガ強ク、其ヨリ弱震トナ

リ戶外ニ出ヅル暇ハ無カリシトゾ

十二月一日 午後九時頃微震ス

他里霧

十二月一日午後九時前後ニ二回續キテ地震ス、トント突キ

上グルガ如ク、中ニハ戶外ニ飛ビ出ヅル者モアリシトゾ、此ノ四五日前迄ハ月毎ニ一二回ヅ、微震アリシトノコト
大坂頭

十一月三十日夜 地震一回アリ

激震ノ當日ハ六回地震アリシ由シ
大甫林

十二月二日午前三時十五分、ドーント地鳴アリテ、ビリ／＼震動ス

嘉義

當地ニテ大震後ニハ地鳴ナキ震動ハ殆ド絶無ナリ、ドーント物ガ近ヨリ來ル如キ音ガ少時續キテ、忽チビリ／＼震動ヲ感スル由シ

六日激震ノトキハ、ゴーツト遠雷ノ如キ大ナル音ガシタレハ、何ナラント云ヒ居ル内ニ、震動ヲ感ジ逃ゲ出ントセルニ、屋根ヨリ瓦ガ落ツルナドシテ外出スルコト出來ズ、其ノ内ニ震動ハ靜マリシ由シ

十二月十日 午前七時二十八分二十五秒 地震ス繼續時間ハ約三十秒ニシテ、ミシ／＼ト急ニ震動ス本委員ノ來臺以來感ジタル最強ノ地震ナリキ、震動ハ水平動ニシテ方向ハ北西北—南東南ノ如クナリシガ、微震ノ稍々強キモノナリ

キ

此ノ地震ハ臺南ニテハ、地動計ハ晝キタルモ、人體ニハ感ナカリキ

鳳山

十一月六日地震ノ震動時間ハ長ク、吊リ洋燈ハ大分振動シ、遠方ニ大震アリシナラント云ヘル由ナリ

新港

激震ノトキ、ゴーツト音ヲナシテ、其ト共ニドント上下動ヲ感ジ、其ヨリ水平動ニナリタリトノコト

北港

郵便局員ノ話ニ依ルニ、十一月六日、始メゴーツト地鳴が大分甚ク、外ニ出デントセル頃大震トナリ潰レタル由シ(午前三時ニ郵便ヲ差シ立テ寢ニ就カントセル頃ナリトゾ)當地ニテハゴーツト音ガシテ、直グ震動スルヲ常トスト云フ

十一月二十二日午後二時前ト二十九日午後七時過ギノ兩回ノ地震ハ、大分強ク、殆ド戶外ニ逃ゲ出ントセル位ナリキ、後者ハ下カラツキ上ル如キ震動ナリシガ、此ハ別ニ地鳴無カリシ由シ

十二月六日午前一時頃微震アリ

十一月十四日午後四時微震ス
月眉潭

大震後當地ニテハドーント弱キ雷ノ如キ地鳴アリ、直グ續
キテ震動スルナリトゾ

十二月六日午後二時頃ニ微震ス

臺南

十二月十二日午前四時二十分微震、十秒間震動ス

此ノ地震ハ臺中ニテハ感ゼザリシト云フ

後大埔

昨年(明治三十六年)六月ノ強震ノトキニ崖ガ崩レタリ、尤
モ常ニテモ多少強キ震動アレバ、山ヨリ土塊ガ落ち、或ハ
水ガ濁ルヲ常トスト云フ

大甫林

本年四月ノ地震ノトキ土角ノ崩レタル爲メ壓死セルモノ一
人アリ、打猫ニテハ屋根瓦ガ落ちタル位ナリキ

第十編 明治三十七年十一月六日

激震ノ震災地ニ於ケル觀

察ノ摘要

八七 本委員ガ巡回セル震災各地ニ於ケル震動ノ強弱、方向
等ニ關スル概況ハ左ノ如シ

臺北

八八 市内民家ノ多クハ土塊ヲ以テ壁ヲ造リ、直接之ニ横木
ヲ架シテ屋根ヲ支ヘ若クハ天井、床トセル極簡單ノ惡構造ナ
リ、又家ノ前面ニ煉瓦柱二本ヲ立テ、之ニ屋根ヲ支持セシメ
テ玄關トセルモノ多シ、柱ハ上等ノモノナレバ高サ約十尺ニ
シテ截面ハ普通煉瓦八枚並ベナルガ、其ノ頭部ニ穴ヲ穿チテ
木材ヲ通シ入ル、ヲ以テ、水平動ニ對シテハ頗ル弱キモノト
ナルベシ屋壁及ビ柱ガ龜裂シ或ハ傾斜セルモノ甚ダ多數ナル
ハ勿論ノ次第ナリ、臺北ニテハ今回ノ地震ハ損害ヲ生ゼズ、早
朝ノコトナレバ眠リテ知ラザルモノモアリキ

臺中

八九 臺中市街ニテハ、震動稍々強ク、眠リヨリ覺メテ戶外